

# 平成 29 年度 下 半期 指定管理者管理運営状況シート

## ●施設の概要

施設名	岩野田児童センター	所管課	子ども未来部子ども支援課
所在地	岐阜市栗野東1丁目95番地		
指定管理者名	社会福祉法人 中部学院福祉会		
指定期間	平成29年4月1日～平成34年3月31日まで		
選定方法	<input checked="" type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 非公募		
料金制	<input type="checkbox"/> 使用料 <input type="checkbox"/> 利用料金 <input checked="" type="checkbox"/> 料金徴収なし		
指定管理委託料(年額)	16,002,000円		
施設の設置目的	児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、又は情操を豊かにすることを目的とする。		
施設概要	◇構造:鉄筋コンクリート造2階建 ◇敷地面積:1,095.03㎡ ◇延床面積:532.42㎡ ◇施設内容:遊戯室、幼児室、集会室兼図書学習室、図工室、おもちゃ図書館、事務室兼静養室、駐車場		

## ●利用状況

		H29下半年	H29上半期	H28下半年	H28上半期	H27下半年
利用者数 (単位:人)	来館者数	10,209	11,971	10,012	12,366	10,413
	移動児童館利用者数	1,475	1,213	904	1,409	1,573
各室稼働 状況	移動児童館実施回数(単位:回)	25	21	22	24	25
	開館日数(単位:日)	151	157	151	157	151

## ●業務の履行確認

区分	確認事項	履行状況
利用者サービス	①開館日・開館時間の遵守 ②適切な人員配置 ③広報の方策 ④苦情への対応 ⑤仕様書、事業計画書に基づく事業の実施	①、⑤計画どおり実施。 ②所長(常勤・児童厚生員)、正規職員(常勤・児童厚生員) 嘱託職員(非常勤)2人、学生アルバイト3人 ③おたより月刊「わくわく」を毎月発行・配布、(小学校、公民館、自治会回覧、畜産センター、一部幼稚園・保育園、近隣のイベントホール)。イベントポスター掲示(近隣のコンビニ、郵便局、スーパー)、報道機関への情報提供、ホームページへの掲載。ブログに写真付きでのアップ。指定管理者の広報誌「済美学院報」に児童センターの活動を掲載。 ④匿名の電話やメール等には臨機に対応。利用者への普段の話しかけにより苦情やニーズを的確につかむよう心掛け、利用者アンケートを実施しその結果を、幼児クラブ等で口頭説明し館内に掲示。
自主事業・提案事業	—	—
施設管理	①施設設備の保守点検の実施 ②施設の衛生管理に対する配慮、快適に利用できる状態の保持 ③省エネルギー並びに環境への負荷の軽減に努めること ④施設・設備・備品等の維持管理	①指定管理者(本部)連携のもとに適切に実施。 ②日常清掃は毎日実行し、玩具は定期的に消毒し、破損等の点検を実施。週2回は、就労促進事業清掃班による清掃。 ③職員間で節電の意識を持ち、使用していない部屋の消灯、冷暖房節約、節水に努めた。牛乳パック・紙芯等廃材を行事の材料に利用した。 ④施設、備品等の点検は随時行う。玩具については破損がある場合おもちゃ病院での修理を依頼。屋外遊具の定期点検(年2回)実施。 備品購入・委託事業等は法人の経営する施設と一括することで経費の節減を図っている。
施設修繕	下記の観点からの修繕実施状況 ①迅速・適切な修繕の実施 ②指定管理者のノウハウを生かした修繕・整備	①大規模な修繕(屋外遊具のさび止め色塗り補修・水道蛇口修理・1階排水管修理)については、市に要望を提出修繕。 ②簡易修繕(事務室床一部修繕・事務室水道蛇口修理)については、指定管理者(本部)に相談し行った。
危機管理・法令遵守	①個人情報の保護 ②非常時の対応策 ③関係法令の遵守	①～③適切に実施。 個人情報保護・非常時対応マニュアルを整備し、随時職員間での話し合いを持ち、年3回の利用者を交えた避難訓練を行い確認し合っている。

●利用者評価

<p>利用者アンケートの実施状況</p>	<p>【保護者用(一般来館・クラブ参加)アンケート】 平成30年3月 保護者(一般来館・クラブ参加)の103人にアンケート(無記名)を実施。 回答者数103人(100%) 【小・中・高校生用アンケート】 平成30年3月 来館した児童・生徒にアンケート(無記名)を実施。 回答者数83人</p>
<p>利用者アンケートの実施結果</p>	<p>&lt;保護者用(一般来館・クラブ参加)アンケート&gt;  <b>【校区】</b> 岩野田北(36%) 岩野田(26%) 常磐(23%) 長良西(5%) 長良東(4%) その他(6%)  <b>【性別】</b> 男(4%) 女(95%) 未回答(1%)  <b>【年齢】</b> 10代(2%) 20代(19%) 30代(67%) 40代(9%) 50代以上(2%) 未回答(1%)  <b>【利用頻度】</b> 初めて(10%) ほぼ毎日(0%) 週2~3回(5%) 週1回(45%) 2週間に1回(7%) 月1回(25%)  <b>【来館相手】</b> 子・孫(91%) 友人(8%) その他(1%)  <b>【来館方法】</b> 徒歩(15%) 自転車(3%) 自家用車(81%) その他(1%) 未回答(1%)  <b>【何で知った】</b> ホームページ(28%) 広報紙・チラシ(13%) 学校(1%) 保育所・幼稚園(4%) 知人・友人(30%) その他(22%) 未回答(4%)  <b>【評価】</b>  (あいさつ).....満足(77%)、ほぼ満足(14%)、普通(9%)、やや不満(0%)、不満(0%) 未回答(1%)  (言葉づかい)....満足(79%)、ほぼ満足(10%)、普通(11%)、やや不満(0%)、不満(0%) 未回答(1%)  (利用者対応)....満足(78%)、ほぼ満足(12%)、普通(10%)、やや不満(0%)、不満(0%) 未回答(1%)  (利用しやすさ)・・・満足(41%)、ほぼ満足(25%)、普通(27%)、やや不満(6%)、不満(0%) 未回答(2%)  (整理整頓).....満足(50%)、ほぼ満足(26%)、普通(20%)、やや不満(1%)、不満(0%) 未回答(3%)  (清潔感).....満足(41%)、ほぼ満足(27%)、普通(24%)、やや不満(5%)、不満(0%) 未回答(3%)  (換気).....満足(37%)、ほぼ満足(30%)、普通(28%)、やや不満(2%)、不満(0%) 未回答(3%)    &lt;小・中・高校生用アンケート&gt;  <b>【性別】</b> 男(52%) 女(48%)  <b>【学校名】</b> 岩野田北小(73%) 岩野田小(13%) 岩野田中(5%) 常磐小(2%) 高校生(2%) 未回答(2%)  <b>【学年】</b> 小学:2年22人、5年15人、3年13人、1年10人、6年9人、4年6人、  中学:3年3人、1年1人、高校:1年2人、未回答1人  <b>【利用頻度】</b> 初めて(2%)、毎日(7%)、週4・5回(7%)、週2・3回(18%)、週1回(24%)、  その他(36%)  <b>【来館相手】</b> ひとり(25%)、友人(6%)、父母(7%)、親戚(1%)、その他(2%)、未回答(1%)  <b>【来館方法】</b> 徒歩(24%)、自転車(60%)、自家用車(14%)、その他(0%)、未回答(1%)  <b>【好きな遊び】</b> ドッジボール(20.1%)、ボードゲーム(13.2%)、卓球(11.8%)、カードゲーム(10.8%)  バドミントン(10.3%)、バスケット(8.3%)、キッカーボード(6.4%)、  マルチパネハウス(4.4%)、さら回し工作(4.4%)、ディアブロ(1.5%)、その他(8.8%)</p>
<p>利用者からの要望・苦情と対処・改善</p>	<p>要望⇒回答  ○遊戯室の窓が開いていると危ない、網戸があればいいと思う。⇒基本小学生が運動する部屋なので、網戸をつけるのは難しいです。幼児クラブの時はエアコンで調節するのにご協力ください。  ○駐車場がもっと広いといい。木をのぞいてもらいたい。⇒駐車場を広げるのは難しいです。木の枝は掃いました。</p>

●指定管理者の選定基準に基づく評価

区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
				指定管理者	所管課	評価委員会
公平性 透明性	住民の平等利用が確保されること	①平等利用を確保するための体制、モニタリングなど	・利用者アンケートの実施 ・運営委員会の開催	A	A	A
		②情報公開、広報の方策	・利用者アンケート結果の公表(館内掲示など) ・広範で適切な情報提供・広報活動の実施	S	S	S
		区分評価			S	
効果性	事業計画書の内容が、対象施設の効用(設置目的)を最大限発揮するものであること	③既存業務の改善、工夫又は新規事業等の実施	・業務改善や工夫又は新規事業(行事)等の実施	A	A	A
		④利用者ニーズ、苦情などの把握方法、対応方策及びサービスの質を確保するための体制	・利用者アンケートの実施 ・利用者ニーズ・苦情・クレームへの着実な対応・運営への反映	S	A	A
		⑤利用者に対するサービス向上の方策(窓口対応、プロモーション、設備の整備など)	・移動児童館の実施 ・利用者へのサービス向上に繋がる方策の実施	S	S	S
		⑥利用促進、利用者増の方策	・利用促進や利用者増に繋がる方策の実施	A	A	A
		⑦施設の効用(設置目的)を最大限発揮できるスタッフの配置	・児童厚生員を2人以上、その他の職員(施設が児童センターの場合は体育指導員)を1人以上配置(このうち最低1人は常勤職員とすること)	A	A	A
		区分評価			A	
効率性	事業計画書の内容が、管理経費の縮減が図られるものであること	⑧指定管理経費の妥当性	・収支計画の妥当性及び適正な予算執行	A	A	A
		⑨管理経費縮減の具体的方策	・管理経費縮減に繋がる方策の実施(リサイクルやリユース、節水・節電など)	A	A	A
		区分評価			A	
安定性 安全性	事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力、人的能力を有していること	⑩組織及びスタッフ(採用予定者も含む)の経歴、保有する資格、ノウハウ、専門知識等	・児童厚生員を2人以上、その他の職員(施設が児童センターの場合は体育指導員)を1人以上配置(このうち最低1人は常勤職員とすること)	A	A	A
		⑪スタッフ(採用予定者も含む)の管理、監督体制	・事務分掌等に基づく管理・監督体制並びに事務分担の実施	A	A	A
		⑫スタッフ(採用予定者も含む)の人的能力、人的能力を有していること	・職員の資質向上を図る研修の実施又は研修会への参加	A	A	A
		⑬リスクへの対応方策(防止策、非常時の対応マニュアルなど)	・危機管理(リスク)や非常時対応のマニュアルの整備 ・リスク防止策の実践	A	A	A
		区分評価			A	
区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
貢献性	事業計画書の内容が、岐阜市あるいは施設がある特定の地域(以下「地元」という。)の振興、活性化などに貢献できるものであること	⑭地元の法人その他の団体の育成(一部業務の再委託先)、地元住民の活用(雇用又はボランティア等)	・地元の諸団体との連携、交流 ・地元の法人その他の団体の育成又は地元住民・高齢者・障がい者等の活用	S	S	S
		⑮地元での社会活動等への参加	・地元の振興、活性化などに貢献できる社会活動等への参加(地元行事への参加)又は地元の団体・住民との協働事業等の実施	S	S	S
		区分評価			S	

●指定管理者の取組みに対する自己評価(良否、課題と解決策など)

<p>今期の取組み に対する評価</p>	<p>①子育て応援として ・幼児クラブ(2歳児クラス・1歳児クラス)を開催。アンケートの意見が反映するような活動を採り入れ、幼稚園訪問や遠足を実施した。「幼児安全法」として日赤の方を招いて【子どもに起こりやすい事故と手当・AED体験】は保護者にも好評で今後も続けていきたい。秋には母親対象の子育て講座として、中部学院大学短期大学部のそれぞれ専門の先生を招いて「母学キャンパス」を開催。第一回「子育てに英語遊びを」第二回「リトミック」第三回「親子運動遊び」どの会も大盛況で140人が参加 ・0歳児教室は月1回開催。ネットで見たという方もあり、(ベビーマッサージ、保健師の話、手づくりおもちゃ、リトミック、クリスマス会)も採り入れ、毎回15～20組の参加で好評。 ・3月「赤ちゃん抱っこ会」を開催。小学校6年卒業生有志と0歳時教室参加者が交流。赤ちゃんとのふれあいの大事さを知る。31名が参加。</p> <p>②児童健全育成として ・「子ども運営委員会」での意見を参考に「V・わくわく隊」「あそびクラブ」のクラブ員が中心になりクリスマス会・高齢者施設訪問の計画をたて実行。 ・デイキャンプを畜産センター(常磐校区)で行う、小学生15人参加。年2回のデイキャンプも定着してきて、参加者もコンスタントに。 ・平日の放課後、宿題を持参する小学生が増えて来たので、環境設定を整える。「宿題追い込みルーム」開設が良い影響を与えている。 ・畜産センター公園(常磐校区)で、同公園主催の「オータムフェスタ」の協働事業として「青空児童館」を開催し、大学生ボランティア4人も協力、348人の参加。 ・小学生自主ボランティア隊「V・わくわく隊」の活動においては、高齢者施設訪問やクリスマス会の準備を手伝う。高齢者施設訪問は夏とは別の施設からの要請により実行し地域に貢献した。 ・入館カード記入時に荷物(特に自転車の鍵)を預かり、忘れ物等無いように声掛けを徹底している。</p> <p>③広域的な広報活動として、ホームページを充実。毎月の「月刊わくわく」の掲載、イベントのお知らせ、活動のブログを写真付きでわかりやすく更新。</p> <p>④地域活動として、 ・幼児クラブ参加の母親からの申し出により「秋のファミリーコンサート」を開催。自主サークル会員ということで、口コミ効果もあり80名の参加。 ・わくわく冬フェスタを地域老人クラブの協力を得て行う。172名の参加 ・3月に「サイエンス&amp;マジックショー」として、2人組のパフォーマンス「くりくりワールド」を招き 特別公演を開催。近くのコンビニ、郵便局、スーパー、幼稚園、保育園、近隣の文化施設等にチラシ・ポスターでの宣伝をお願いし94名の参加。 ・「孫育て応援セミナー」を中部学院大学短期大学部の先生を招き開催。将来を担う孫のために17名が参加。</p>
<p>前回までの意見を 踏まえた取組み状況</p>	<p>・駐車場がわかりにくいという指摘に答え、看板を設置。 ・土日祝日・学校長期休みにランチルームを開設しているの、弁当を入れる棚を設置し、水筒(ふた付ペットボトル)も含め置く場所を決めている、そのことが定着し始めていることも含め、机の台拭きや食事後の後片付け等、子どもたち自身できるように見守っている。 ・「宿題追い込みルーム」が良い影響になり、平日の宿題も気軽に出来るようにしている。 ・「デイキャンプ」を開催(畜産センター)恵まれた自然環境を生かした児童の野外活動として定着している。 ・畜産センター公園の要請により芝生広場での「青空児童館」を開催。 ・幼児クラブのカリキュラムの中で、「幼稚園の訪問・園児との交流」が好評。2月には「保育園の訪問・園児との交流」も実地、保護者に好評。 ・日赤の講師を招き「幼児安全法」として、(子どもに起こりやすい事故と手当・AED体験)が好評。 ・母親対象「母学キャンパス」(①子育てに英語遊びを)、(②リトミック)、(③親子運動遊び)、恒例となり大盛況。 ・地域のボランティア(老人クラブ)の協力を得て「わくわく冬フェスタ」(もちつき)を開催。 ・月刊「わくわく」3校区への配布に加え、自治会回覧で地域住民への浸透も図る。</p>
<p>今後の取組み</p>	<p>・外部講師(特に中部学院大学・中部学院大学短期大学部との連携)の関係性をさらに深め、子育て講座の取り組みを強化していきたい。 ・児童の学休日に開設している「ランチルーム」を幼児親子にも使いやすくする。 ・「放課後児童クラブ」指導員への、遊びの指導をさらに増やしていけるよう呼びかける。 ・宿題は平日でも持参しやすい環境をさらに整える。 ・小学生自主ボランティア隊「V・わくわく隊」の活動、特に「高齢者施設訪問」は大変期待され、児童にも良い経験なので回数を増やし地域に貢献できたので今後も続けたい。 ・利用者アンケートの声を大事に、業務改善や利用促進の貴重な意見と捉え、実行可能なことには、即取り組み。 ・小学生の自転車の置き方について安全に気を付けるよう徹底していく。 ・避難訓練は重要課題、来館自由な児童館で、臨機に対応できるように、年3回は取り組むようにする。</p>

●所管課の意見

<p>○児童センターの広報紙「わくわく」を毎月発行し、担当小学校全児童に配布したほか、公民館、保育所や幼稚園、畜産センター等にも配置するとともに、新たに自治会への回覧も実施。 また、イベント用ポスターを近隣のコンビニやスーパー、郵便局に掲示を依頼したほか、マスコミへの情報提供やホームページへ掲載など多くの媒体を工夫を凝らして有効に利用した。 ○毎年、数多くの事業を継続しながら新規事業の拡充や事業の見直しを随時行うなど、利用者のニーズに即した事業展開を意識したことにより、前年度同期の利用者数を上回った。 ○移動児童館は上半期の21回、下半期も25回開催され、目標数値の24回／年を大きく上回ったことを評価したい。 ○小学生自主ボランティア隊「V・わくわく隊」による高齢者施設への訪問交流や、地元老人クラブが参加した「わくわく冬フェスタ」でのもちつきなど、世代間交流にも努めている。 ○台風の接近や降雪が続いたが、所管課との連絡調整による閉館・休館等の適切な対応と、利用者や学校への事前通知など自発的な安全対策により、利用者の安全を確保し、事故無く管理運営を行ったことを評価したい。 ○職員体制や経営状況については、問題なく運営が行われている。</p>
-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

### ●指定管理者評価委員会の意見

児童センターにおける子どもたちによって組織される「子ども運営委員会」の設置は、子どもたちに児童センターへの思いを強くさせる事業であり、子どもたちの意見を尊重し、自主性・主体性が育まれる事業でもあることから、評価するとともに今後も継続していただきたい。

各方面から指摘された事業に対する改善についても、真摯に取り組んでいるので評価したい。

避難訓練については、今後も継続して取り組んでいただきたい。

管理運営は適正に行われており、良好と認められる。